

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

企業の概要

社名	向洋電機土木株式会社	都道府県	神奈川県
業種	建設業	従業員数	26名
事業概要	電気設備設計・施工		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則に規定、別途ルール策定
テレワーク推進担当部門	広報部
テレワーク対象者	全社員
実施者数	26名
実施日数	月12日以上20日未満(概ね週3~4日)

テレワークの導入・拡大の経緯

会社の方針として、CS(顧客満足)向上のためにはES(従業員満足)向上が必要であり、更にはFS(家族満足)も必要であると考えており、それを根底から支えるのがPS(個人満足)だと考えております。このFSを支えるのが当社のワークライフバランスであり、社員だけでなくその家族の幸せまで追求していくことが大切であると考えています。当社社員で介護問題と育児問題を抱える社員のフォローと、移動時間増加による社員の精神的・体力的な損耗率削減によるクライシスコスト軽減、遠距離社員同士や緊急時のコミュニケーション手段の確立のため社員と会社双方にメリットが出る経営戦略のひとつとして導入運営しています。

テレワークの概要・特徴

パッケージングのシステムを使わないで、フリーソフトや既存のソフトや自社開発ソフトなどを連携させた独自の運用形態で活用しています。社員には同じスペック・同じソフト・同じアプリをインストールしたスマホとノートPCを配布し、BYODなどを完全禁止としています。会社の物理サーバーなどとクラウドサーバーの併用型で、ファイルのセキュリティランクと社員毎の権限ランクと接続権限ランクを設定して、接続のルールと情報セキュリティの管理をしており、ノマドワーカーのように喫茶店やファミレスなどの指定場所以外での使用を禁止しており、会社、現場、自宅、特別に許可された固定箇所と指定された場所以外での使用を制限したテレワークです。(病院に入院している社員が有給を削る事無くテレワークで業務を行った特殊事例の実績などもあります) ICTの活用事例として、地元中小企業や異業種へのレクチャーを通して新しい顧客開発と地域の異業種連携の活性化が進んでいます。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

平成20年度と平成26年度で5年単位で比較すると、社員数が4人増加、ガソリンで34000ℓから31800ℓに削減、本社電力で32000Kwhから25500Kwhに削減、労働時間平均で2100時間が1850時間に削減、移動時間の短縮に伴い車両の運転時間がへり精神的にも体力的にも余裕が出来るようになり、車での無事故・無違反が達成されるようになり現在、車両の任意保険は70%削減となりました。これらの結果出た原資を更に働きやすい会社になるように設備投資に回してフリーアドレスへのレイアウト変更など環境整備推進となっています。テレワークを運用するに当たり、社員との面談等を進めてライフプラン作成に基づくキャリアプラン作成を行う形になり、より社員との信頼関係構築と帰属意識の向上を得ることが出来て、この平成20年から平成26年の5年間で社員が子供を10人増やし(実は二人目が欲しかった、娘が欲しかった、金銭的・将来的な不安が、を解消出来た為)テレワークを活用して家族との時間を選択できるようにした事がより組織として成長した形となり、余暇時間の創出で資格取得などが推進して会社も社員も大幅に成長しました。その結果として会社の売上高も増えています。